

2014年4月1日発足

生研の強みであるデバイス技術・数理工学・生物工学・臨床医学を融合、国内外の専門研究機関との連携も深化させつつ、「細胞や組織等の生体材料を使ったものづくり」の学術的体系化を行います。これを通じて、細胞から個体、予防から診断に至るまでの革新的医療システムを創生、我が国の関連産業の発展に貢献することを最終目標とします。この達成のために、基礎生物・医学系の協力のもと、工学者がリーダーシップを取り産業界も深く参画する“国際的医療システム研究開発拠点”を構築します。

センター内の  
4つの部門

### 基礎応用研究分野

定量的・網羅的解析と数理工学と融合

- ・谷口維紹 特任教授 (分子免疫学)
- ・小林徹也 准教授 (定量生物学)

### 産業応用研究分野

創薬・疾患解明・治療予測のための細胞デバイス

- ・藤井輝夫 教授 (応用マイクロ流体システム)
- ・松永行子 講師 (医用バイオ工学)

### 臨床連携研究分野

体内埋込デバイス・細胞治療・再生医療、前臨床→臨床へのスムーズな展開

- ・酒井康行 教授/センター長 (臓器・生体システム工学)
- ・興津輝 特任教授 (移植医療工学)

### 応用探索研究分野

ウェアラブルセンサー等の次世代型診断デバイス、非メディカル応用も広く探索

- ・竹内昌治 教授 (バイオハイブリッドシステム)
- ・Yannick Rondelez 特任准教授 (生体分子マイクロ工学)

2014年7月23日  
設立記念公開  
シンポジウム

- 日時： 2014年7月23日 (水) 15:00~17:50 (シンポジウム), 18:00-19:30 (懇親会)
- 場所： 駒場リサーチキャンパス・生産技術研究所・An棟ホールおよびホワイエ

- 15:00~ 「生研所長ご挨拶」 中埜良昭所長
- 15:10~ 「ご挨拶及び医科研現状報告」 清野宏医科研所長
- 15:20~ 「ご挨拶及び分生研現状報告」 宮島篤分生研前所長
- 15:30~15:40 「ご挨拶及びセンター紹介」  
統合バイオメディカルシステム国際研究センター長・酒井康行
- 15:40~16:30 記念講演「リン脂質多様性の生物学」  
(独) 国立国際医療研究センター研究所長, 清水孝雄氏
- 16:30~17:10 特別講演「写真材料で培った技術の展開~再生医療足場材料の開発~」  
幹細胞評価基盤技術研究組合・理事長,  
富士フイルム株式会社・執行役員  
及びR&D統括本部・再生医療研究所長 吉岡康弘氏
- 17:10~17:50 「部門紹介」: ①基礎応用研究分野, ②産業応用研究分野,  
③臨床連携研究分野, ④応用探索研究分野
- 18:00~19:30 懇親会 (ホール隣接ホワイエにて)  
\*センター研究室の最新研究のポスターをホワイエに展示します。

入場無料

- 【参加申し込み】準備の都合上、極力事前申し込みをお願いいたします。以下の情報を添えて、メールでお申し込みください。
- ・必要な情報： ご所属, お名前, 連絡先 (メール等), 懇親会参加の有無
  - ・申し込み先： [cibis@iis.u-tokyo.ac.jp](mailto:cibis@iis.u-tokyo.ac.jp)
  - ・そのほかお問い合わせ先：東京大学生産技術研究所 統合バイオメディカルシステム国際研究センター  
酒井康行研究室, TEL 03-5452-5353
  - ・センターHP暫定版： <http://www.cibis.iis.u-tokyo.ac.jp>